

授業概要

産業組織論は、資本主義経済システムにおける市場メカニズムを対象にしており、財・サービスの供給主体である企業・企業グループから構成される産業が研究の対象である。競争と独占、企業行動、政府規制と規制緩和、産業国有化と民営化などをテーマに、電気事業や鉄道事業などでの企業行動や、競争・独占・規制と市場メカニズムとの関連を講義する。

授業計画

第1回	授業の概要ー産業組織論でなにを学ぶかー
第2回	資本主義経済と市場メカニズム
第3回	競争と独占
第4回	産業構造と企業行動
第5回	公益事業と政府規制
第6回	規制緩和・規制改革
第7回	電気事業における競争・独占・規制
第8回	電力自由化と原発・自然再生エネルギー
第9回	産業国有化と民営化
第10回	資本主義の発展と鉄道事業
第11回	鉄道国有化と民営化
第12回	鉄道事業と安全規制
第13回	東日本大震災と鉄道の復旧
第14回	地域公共交通の産業組織的課題
第15回	授業のまとめ
第16回	筆記試験

到達目標

資本主義経済における市場競争と独占、電気事業や鉄道事業における競争・独占・規制、規制緩和と民営化について理解することができる。

履修上の注意

毎回出席し、授業内容を理解するよう努めること。

予習復習

予習・復習を兼ねて、新聞やテレビのニュースで授業内容と関連する記事を探して読む。

評価方法

2~3回、授業の感想や理解度を確かめるペーパーを書いてもらい、筆記試験の成績に加える。

テキスト

テキストは使用しない。毎回資料を配布する。授業の中で参考書を指示する。